

毎年車両を受贈

した。

2013年度に日本

財団が行った福祉車両

の助成は、7340台

の申請のうち2079

台。車種によっては6

倍以上の倍率となつて

いるものもある。

同法人の申請が通り

やすい理由について森

一成理事長は「助成を

受ける度にお披露目式

を行い、その様子を日

本財団に送るなどして

「きちんと使ってい

る」、「感謝している」

というのをしっかり

とアピールしているこ

とが大きいと思いま

す。日本財団が最も嫌

がるのは、善意の助成を転売されたり、使用されないままでいることだからです」

従来、日本財団に

よる介護事業者への

助成は施設の建築費

補助などが多かった

が、一見したただけ

は日本財団からの助成

で建てられているかど

うかはわからない。そ

のため、近年は目にと

まりやすい福祉車両の

助成が主流になってき

ているのだという。

「私は今回の介護報

酬引き下げは、国から

の『経営的な観念を持

て』というメッセージ

のように思います。そ

のため、現在当法人で

◀お披露目式を実施



は経営コンサルティン

グ会社の京セラコミュニ

ニケーションシステム

の支援のもと、生産性

を上げつつ経費を下げ

る『アメーバ経営』に

注力しています。今後

も日本財団からの助成

をはじめ、活用できる

ものは活用するなど経

営努力を図っていきたく

と思います」（森理

事長）



社会福祉法人合掌苑
理事長 森一成
社会掌一
森

社会福祉法人合掌苑
(東京都町田市)は、

毎年定期的に(財)日
本財団より福祉車両の

助成を受けており、こ
れまで寄贈された福祉

車両は20台を超えてい
るという。

今年も新たに4台を
納車。3月4日には自

動車販売メーカー関係
者参列のもと、理事長

をはじめ納車された事
業所の職員たちによる

「お披露目式」を開催